

PCカンファレンス北海道2009実施報告

実行委員長 札幌学院大学 皆川雅章

実施日：2009年11月7日（土）、8日（日）

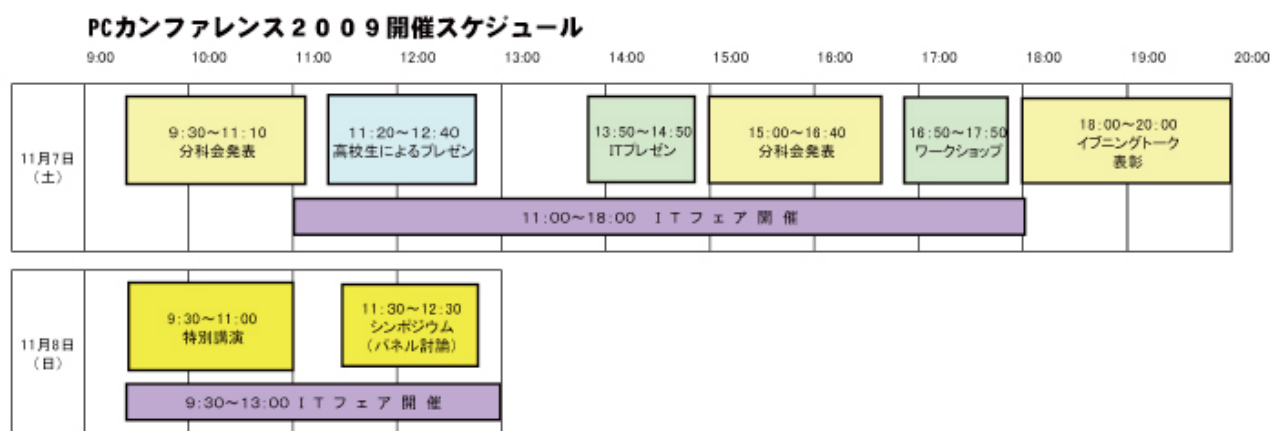
会場：札幌学院大学

主催：PCカンファレンス北海道2009実行委員会

共催：CIEC、全国大学生協連合会北海道地域センター

後援：江別市教育委員会、北海道教育委員会、札幌学院大学

参加者数：88名（参加登録分）



1. 分科会発表

11月7日に実施し、発表件数は一般11件、学生が7件の合計18件である。カンファレンスの活性化を図るために、今回から学生発表者を対象としてプレゼンテーションスキル賞を導入した。この賞の授与趣旨と評価方法は次の通りである。

PCカンファレンス北海道2009における学生の分科会発表者に対して「プレゼンテーションスキル賞」を授与いたします。この表彰は、分科会発表に向けての学生発表者の努力を評価し、さらに、その後の勉学の励みとなることを期待して、今回のカンファレンスにおいて試行されるものです。この賞は、プレゼンテーションの技能について、次のような項目をもとに総合的に評価します。

- | | |
|------|----------------|
| 評価項目 | ① 発表の構成・論旨の適切さ |
| | ② スライドのわかりやすさ |
| | ③ スピーチのわかりやすさ |
| | ④ 討論における態度 |
| | ⑤ 聴衆の興味を引いた度合 |

発表時間オーバーは減点されますので、発表時間(15分)内での発表を心がけてください。

セッションごとに、座長と審査員の2名で審査を行い、次の2名に実行委員長から賞を授与し

た。表彰式はイブニングトーク前の時間を使って行われ、発表を待つ学生が多数、会場に残り熱気を感じさせた。

千歳科学技術大学 池田悠樹「学生の質保証のための知識を用いた学習カルテシステム」
北見工業大学 鈴木悠介「電気工学実験のためのオープン・シミュレータの開発」



表彰式の様子

2. 高校生によるプレゼン（今回から導入）

今年からの新たな企画のひとつとして「高校生プレゼン」を行った。これは、教科「情報」の必修化以降の高校生のプレゼン能力向上とともに、コンピュータ部などのIT系の部活動の発表の場を提供する趣旨で実施されたものである。初回の開催であったため、募集はCIEC北海道支部の関係者を介して参加者を募り、今回は札幌拓北高校の2チームが次のテーマで発表を行った。

- (1) 「メディアについて」1年生グループ
- (2) 「電子犯罪白書」2年生グループ

いずれの発表も、内容とプレゼンテーション方法の両面から工夫されており、フロアの参加者からも好意的な意見が出されていた。なお、発表者にはひとりひとり「参加賞」の賞状と記念品が贈られた。

司会：石谷正（仁木商業高校）

3. ITプレゼン

企業・メーカーによる「ITプレゼン」が、以下の三社により行われた（発表順）。何れも、今回のカンファレンスのキーワードである「e-learning」に関連する興味深い内容で、参加者の注目を集めた。以下に各参加企業のプレゼンテーションの様子（画像）を紹介する。

司会：曾我聡起（北海道文教大学）

- (1) ウチダエスコ(株)：最新のMac OS X 10.6サーバーを用いたWikiと遠隔事業の可能性について。
- (2) (株)アルファシステムズ：仮想化技術を用いたマルチOSブートシステムについて。
- (3) 富士通(株)：手書き認識システムを組み合わせたe-learningシステムについて。



ウチダエスコ(株)



(株)アルファシステムズ



富士通(株)

4. ワークショップ

次の2件のワークショップを開催した。

ワークショップ1：自動採点ツールの活用と高大連携 札幌学院大学 石川千温、皆川雅章

ワークショップ2：明日から始められる e-learning (satrQuiz の導入) アップタウン(株) 中尾貴祥



ワークショップ1



ワークショップ2

5. イブニングトーク

下記の事前申し込みテーマを含め、合計で3件のイブニングトークが行われた。いずれの会場においても、熱心な議論が展開された。

テーマ1：簡単！e-learning -starQuiz TIPS-

申込者：曾我聡起（北海道文教大学（北海道）外国語学部・日本語コミュニケーション学科）

趣旨：PCカンファレンス北海道2009で行われるワークショップ「明日から始められるeラーニング」で使用する「starQuiz 3」を用いたWordからのデータ取り込みなど実践事例の紹介する。e-learning全般について参加者で議論する。

テーマ2：「ゆとり教育世代」の高等教育に必要な Learning Management System（LMS）の構築要素とは？

申込者：井上裕靖（国立大学法人 旭川医科大学（北海道）教育センター）

趣旨：「ゆとり教育世代」の学生に対して適切なLMSの構築方法とその必要性を議論する。



会場1



会場2



会場3

7. 講演

PCカンファレンス北海道2009のテーマ「情報技術と講義設計 e-learningが変える授業」に沿って、シンポジウムに先立ち、下記の2件の特別講演を行った。

講演1：「e-learning を活用した新たな教育サービスの可能性」 千歳科学技術大学 小松川浩氏

講演2：「授業における i-Phone の活用事例」 青山学院大学 宮治裕氏

講演概要：小松川氏は、講演の中で、現在、氏が勤務する千歳科学技術大学の e ラーニングが、大学の教育方針に沿う形で実施されており、そのことが、教職員、大学院生、学部生を一体的に参画させる力になり、また、中高の教員をも巻き込むことを可能とする、と力説された。また、宮治氏は、青山学院大学の社会情報学部が iPhone を導入したのは、学生時代の新鮮な体験、驚き、感動が、その学生の将来にきっとプラスになるに違いなく、iPhone はそれを可能にするツールであると確信したからに他ならず、結果、その通りになりつつあることを実感している、と述べた。



講演1 小松川浩氏



講演2 宮治裕氏

8. シンポジウム

特別講演の講師をまじえ「e-learning によって授業はどう変わったのか」というテーマでシンポジウムを開催した。

パネラー 石川千温（札幌学院大学）、曾我聡起（北海道文教大学）、川名典人（札幌国際大学）

司会進行 石川千温

シンポジウムでは、e-learning によってどう授業が変わったのかが話されたが、パネリスト全員が e-learning がなかなか進まない状況を指摘。各大学では、担当者が苦勞しながら e-learning の活用を模索中であるというディスカッションがなされた。そのなかでも、iPhone などのモバイル・デバイスの活用により、PC 教室内にしぼられること無く対応できるというメリットを感じているとの発言が目をつけた。コンテンツの制作コストや、e-learning を行うにあたりコミュニティーを構築して対応していくなど、これからの広がりや方向性が感じられるシンポジウムとなった。



パネルディスカッションの様子



参加者による意見交換の様子

9. ITフェア

次の11社の協力を得てITフェアを実施した。

ブラザー販売(株)、(株)沖データ、(株)アルファシステムズ、アップタウン(株)、(株)Too札幌支店、(株)ジャストシステム札幌営業所、日本データパシフィック(株)、富士通(株)北海道営業本部文教・産業・流通営業部、パナソニックシステムソリューションズジャパン(株)、カシオ計算機、日経BPソフトプレス



ITフェアの様子(1)



ITフェアの様子(2)

以上